

議長（門 瀧雄）

おはようございます。

本日も定刻にご参集をいただきまして、ありがとうございます。

ただ今の出席議員は 14 名であります。

よって地方自治法第 113 条の規定により、定足数に達しております。

これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、配布の通りであります。

日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第 125 条の規定により、4 番村井保夫君、13 番庄野克宏君を指名いたします。

日程第 2、一般質問を行います。

質問の通告がありますので、順次発言を許可いたします。

12 番、渡邊美喜子君。

議員（渡邊 美喜子）

おはようございます。

12 番 渡邊美喜子一般質問させていただきます。

一点目はたどつ夏まつり、花火大会についてであります。

8 月 3 日に開催されました第 44 回たどつ夏まつり、花火大会には踊り子連、職員、多くの関係者の皆さま大変ご苦労様でした。

今年は、京都府福知山市で花火大会の爆発事故が発生し、亡くなられた方もいます。何事も無く、たどつ夏まつりが無事終了できたことは良かったと思います。

それでは質問に入ります。

2、3 年前からたどつ夏まつりについて、多くの町民の皆さんから色んな意見、要望を聞いております。

一つ目は、たどつ夏まつりと花火大会を同じ場所か、もっと近い場所で出来ないのか。その理由としまして、多度津駅前から港付近まで距離があり、観客が分散されて、総踊りの駅前においては観客が少なく、盛り上がりには欠ける。

踊り子連のチーム数や人数は、減少しているのではないか。

また、踊り子連のみなさんは踊り終了後は、商店街経由で花火を見に行く人がいるが、しかし本当にいない状況であります。幼稚園や保育所の皆さんが参加して頂いていることや、バザー、屋台なども、まつりには欠かせない盛り上がる要素のひとつであり、同じ場所だと一層効果があると思います。一体感に欠け、相乗効果を考えるべきではないでしょうか。

二つ目は、多度津おどり、多度津音頭だけでなく、若い世代にも受ける軽快

なサンバ調の踊りを考えてみてはどうか。中学生や高校生の皆さんにも参加してもらえないのではないのでしょうか。例えば、中学校の運動会で、よさこいソーランを踊っている姿は、全員がひとつになり、一生懸命に楽しんで踊っている姿が感動を覚えます。

また本町には多度津高校もあります。若い人たちの参加もあってもいいのではないのでしょうか。年齢、性別に関係なく、町民総参加のまつりこそが、町の活性化につながり、みんなが年 1 回、多くの人達が参加をして楽しむことができる、今までの伝統を大切にしながら、時代の流れと共にニーズも変わってきています。

まつりは参加する人も見る人も、一緒になって酔える様なものにしていくべきだと思います。

町のお考えを、お伺いします。

2 点目は、観音堂川と二反地川の改修要望であります。

9 月 4 日前後に降った集中豪雨で川が氾濫し、道路への冠水、幼稚園や住宅への浸水が発生しました。今後も起こりうることに、地域の住民のみなさんの不安は多大であります。

台風や大雨のときに、満潮と重なると水位が上昇し、川幅が曲がっている箇所、川幅が広いところから急に狭くなっている箇所、誰が考えてもオーバーフローに成ることが解ります。川の面積、流量面積が、上流部の方が大きく下流の方が小さいのは基本的に不自然であり、それを長年据え置いていることは、不慮の事故の場合、天災でなく人災と言わざるを得ないと思います。まして幼稚園は、安全なところでなくてはなりません。地域住民の避難地になっています。

今回の大雨で、遊戯室に水が入りました。また、二反地川は改修工事の途中であり、度々の冠水で被害が大きくなっており、予算的にも無駄になっているように思います。幸い今は人的被害がありませんが、もし事故があれば、誰が責任を取るのでしょうか。

是非とも町がより一層強く、県に要望して頂きたいと思います。

町の考えをお伺いいたします。以上でございます。よろしくお願い致します。

町長（丸尾 幸雄）

渡邊美喜子議員ご質問のうち、たどつ夏まつり、花火大会についてお答えをしてまいります。

私が町長に就任させて頂く以前の夏まつりは、土曜日に総踊り、日曜日に花火大会と二日間で開催しておりましたが、断続的な感じで盛り上りにかけ、強烈なインパクトが必要ではないかと考えておりました。

多度津町がこれまで発展してきた歴史を紐解いてみますと、景山甚右衛門と、

七福神と呼ばれる人達の功績が、大きいのではないかと思います。そのコンセプトはＪＲ多度津駅から、七福神の住んでいた商店街界限、そして、港へと続く動線だと考えます。そこで、総踊りをＪＲ駅近辺で開催し、その後商店街界限の食べ物広場で美味しいものを食べ満足し、花火を堪能して、楽しいひと時を過ごして頂きたいと考えました。

多度津に来て良かったという気持ちになって、再来町に繋げることが大事だと考えております。観光行政の推進の中で、町外から沢山の見物客を迎え入れ、賑わいを創出する夏まつりイベントと捉えております。

今年は総踊りの見物客も増えておりましたし、商店街の食べ物広場では、多くの人々で賑わって、足を踏み入れる隙間もない程の盛況でした。食べ物に関しましては、役場駐車場内でも２団体が出店しておりましたし、踊る人や見物客の休憩所として活用しておりました。来町者には喜んでもらえたと思いますし、出店して頂いた方々にも感謝をしております。

ちなみに、今年のおどりのチームは、去年より１チーム減少致しておりますが、参加人数は去年とほぼ同じであります。１チーム減少致しましたが、この理由もよく解っておりますので、来年は出場していただけるものと思っております。

まつり会場につきましては、以前には浜街道で総踊りをして、続いて花火観戦をしていた時期もありましたが、浜街道で交通規制を掛けることに対して、安全確保に確証が持てないということで、総踊り会場の変更を、余儀なくされた経緯があります。また元に戻すような無理をして、事故でも起きた場合を考えると、ふん切りが付かない気持ちが強いですし、それより、多度津の歴史を振り返りながら、まつりを楽しんで頂くことを選んでおります。

多度津音頭や多度津囃子だけでなく、若い世代にもうける軽快なリズムでの踊りを考えてはどうかとの事ですが、今年の総踊りの出場者や、食べ物広場の出店者はスポーツ少年団関係の若い人が多く参加してくれていました。子供達を中心に若い人たちが慣れない手つきで踊り、楽しんでいるのを見てほえましく、ほのぼのとした思いにひたっております。

渡邊議員ご指摘のように、サンバ調の新たな踊りを加えるためには、踊る場所を考えると、１日開催では無理があり、もう１日日数が必要ではないかと考えます。

この事も踏まえて、町民皆様に楽しんでもらえ、町外からも沢山人々を招き入れて盛大に開催し、町観光行政推進に一役かっていけるような夏まつりにしたいと考えていますので、ご理解賜りますようお願い申し上げ、その他のご質問には、担当課長より答弁して参りますのでよろしくお願いいたします。

建設課長（島田 和博）

渡邊議員のご質問の 2 点目、観音堂川と二反地川の改修要望についてお答えをいたします。

今回の大雨につきましては、8 月 30 日の山陰沖の低気圧から前線が伸び、台風 15 号の北東進する影響も受け、31 日から 9 月 4 日にかけて前線が停滞いたしました。

一方、9 月 2 日東シナ海で発生した台風 17 号は、北東進し 4 日未明高知県沖で温帯低気圧となりましたが、前線と一体化して四国南岸を移動したため、四国地方全域に湿った空気が流れ込み、香川県においても、一時的に非常に激しい降雨となりました。

多度津町においても、8 月末より断続的に雨が降り続く状態で、9 月 1 日の午後 6 時頃に時間雨量 25 mm に近い降雨量を観測し、3 日午後から 4 日午前にかけての 24 時間雨量は、135 mm を超えました。

4 日 7 時 38 分大雨警報発令、水防本部を立ち上げ対処にあたりました。栄町 1 丁目、北嶋の一部、若葉町、幸町、寿町、南桜川付近、山階佃、西村団地付近、西白方海岸寺新畠付近、見立浜地区一部町道、田畑の冠水が見られ、奥白方の南原の一部、観音堂川中下流地域においては、広範囲に町道部分、住居、田畑まで浸水の状態でありました。

満潮が 10 時半ごろであったため、河川本流の水位も上昇しており、当該河川の氾濫を助長した結果となりました。

昨年 6 月、町といたしまして、県当局に観音堂川の早期改修要望を提出いたしました。その後の県の処理方針として、諸事情もあり当面弘田川合流点より、町道 30 号線までの約 400m 区間を護岸の嵩上げ等、応急的な対処をするということで、本年度設計に入り、9 月当初工事発注した矢先のこととございました。幼稚園についても町の施設であることから、今後の早急かつ適切な応急対策は必要と考えます。

いづれにしても、当該地区については、昭和の時代からたび重なって氾濫しており、3、4 回床下浸水を繰り返している家屋もあることは承知をいたしております。近々では、平成 16 年の台風 23 号にて浸水被害が出ていることから、今回の速やかな応急対策と平行して、抜本的な改修計画が早期に取り図られるよう、町また、地元要望もあわせて県当局に対し、更に強く要望していく所存です。

また、二反地川改修につきましては、継続的に事業進捗しておりますが、町道西村佃橋までの多度津区域の改修完了が、来年平成 26 年と聞いております。町としても、早期完成を望んでいるところでございます。

まだまだ、この 2 河川にとどまらず、治水に関しての諸課題は沢山あります

が、なお一層の努力、研鑽して参りたいと考えておりますので、今後ともお力添えいただきますようお願いをして答弁とさせていただきます。

議長（門 瀧雄）

以上で、渡邊議員の一般質問に対する答弁は、町長、担当課長からありましたが、渡邊議員、再質問があればお受けいたします。

議員（渡邊 美喜子）

ご答弁ありがとうございました。

まつりの事に関してなんですけれども、今の町長のお話しの中では、私とはちょっと、かけ離れているのかなというふうに思いました。

私も、多度津の夏まつりは大好きでして、正直言って 1 回も休むことなく、30 年ほどずっと出ております。

そんな中で、これは私の意見じゃなくって、一緒に踊っている方、また、他のチームの方の、ご意見等も生の声を聞いたうえの、これ一般質問なんです。確かに、今までの伝統は大切です。それで、たまたまですね、地方議会人 8 月号なんですけども、この項目の中にね、まつりの文化と地域の活性化という項目がありまして、それを少し引用させていただきますが、活性化という言葉は元々、科学の世界の言葉であって、異なった分子と分子が交わって、新しい物質に変わる、これは地域という事で切り口で捉えますと、地域にこれまで伝統とか、そういうのがあるんですけれども、異なったもの、新しいものを導入する事によって、新たな活力が生まれるという、そういう部分も書いております。

町長が言われる、一番最初は駅から港までという部分は、ほんとに商店街の活性化にもなりますし、いいのかなと思ったのですけども、毎回歩いて港まで行かしていただけてます。浴衣姿で、そのまま踊った後、行くんですけれども、多くの皆さんをお誘いするんですけども、もう疲れたという事で、駐車場も多度津小学校の方に駐車、停めてる関係で皆さん帰られます。

歩いて港の方まで、毎回歩かせていただくんですけれども、商店街もたくさんのおい出ているんですけれども、やはり、一体感と言うのか、相乗効果があれば一番いいんじゃないかなという思いで、また、町長の対話集会とか、今後あると思うんですけど、生の声を聞いていただいて、そして、改善していただける部分は、改善していただければなというふうに思っておりますので、その点よろしく願いいたします。

それから、もう 1 点、二反地川と観音堂川なんですけれども、ほんとに毎回水が出るという事なんですけれども、本当に一般質問の原稿出して、その後なんですよね、地域の方とそして課長含めて、町長の方にお話しにまいりました。

その上で、本当に努力していただいていることは、すごく解りますし、その後、県の方からも現場を見に来ていただきました。本当に有難い事でございますので、より一層これに向けて、前向きに町として取り組んでいただければ、本当に地域の安全という部分は、町行政の重要な役割でございますので、どうか、要望になりますが、よろしくお願いいたします。終わります。

議長（門 瀧雄）

要望でよろしいですか。

これをもって、12 番渡邊議員の質問は終わります。